

【別添2】(様式例2)

令和2年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立飛騨高山高等学校

学校番号 58

I 自己評価

(全日制課程)

1 学校教育目標	1 「快活」「友愛」「創造」を校訓とし、心身ともに健やかで、より豊かな人間性と「生きる力」を備えた生徒の育成を目指す。 2 社会への貢献や地域の発展に寄与できる人材を目指し、一般教養及び専門的知識や技術を身につけさせるとともに、創造性にあふれ、明朗快活で心豊かな人間性を養う。
----------	---

2 評価する領域・分野	進路指導	
3 現状、生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	「本校では生徒に適した進路情報を示し、生徒の可能性を引き出そうとしている。」(生徒肯定評価：79.1%) 「学校は、生徒の進路希望に沿った適切なアドバイスをしている。」(保護者肯定的評価：80.8%) いずれも否定的評価は4%前後であり、「わからない」の答えが16%前後ある。より分かりやすくする工夫が必要である。	
4 今年度の具体的かつ明確な重点目標	1 自己の在り方・生き方を客観的に把握し、自己実現に向けて主体的に取り組む態度を育てます。 2 地域社会と緊密に連携したキャリア教育を進め、積極的に社会貢献できる人材を育てます。	
5 重点目標を達成するための校内における組織体制	・管理職を中心に、分掌や学年団、学科との連携を大切にした、情報が共有できる組織体制	
6 目標の達成に必要な具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標	
1 個々の生徒の進路希望により添い、生徒が自己達成感をもって進路決定をできる丁寧な進路指導を行います。	① 行事後のアンケートによって、生徒が、「何ができたようになったのか」という振り返りを行うことで、その達成感を評価する。	
2 看護・国公立大コースは、国公立大学合格率30%、その他の進学希望者は第1志望校への合格を目標とします。就職者は第1志望の企業への内定率100%を達成します。	② 数値目標の達成。 進学については、第1志望校と進学先の合致。	
3 進路日より、進路行事、ホームルーム活動を通して、生徒が主体的に進路について考え、情報収集できるように努めます。	③ 進路希望調査の具体性を経年変化でみる。生徒、保護者による学校評価アンケート。	
4 国際社会に対応した、広い視野と資質をもった人材の育成に努めます。	④ 実用英語検定、全商英検の合格率。	
8 取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評価
・個々の生徒にあわせた指導を学科や学年団と連携して行うことができた。	①学科や学年団と情報共有し、個々の生徒の進路希望を把握できたか。	A B C D
・コロナ禍で進路情報の提供や保護者説明会等を工夫して開催することができた。	②ガイダンスや進路行事を通して、生徒の取り組みが主体的になったか。	A B C D
・民間英語検定や全商英検の積極的な受検やその分析による授業改善等の活用はできたが、3年間を見通した指導には至っていない。	③国際社会に対応した、広い視野と資質をもった人材の育成ができたか。	A B C D
11 成果課題	総合評価	
○学科や学年団と協力しながら、個に応じた丁寧な進路指導を行うことができ、学年が進むにつれて、生徒が主体的に企業研究や学校研究に取り組むことができるようになってきている。 ○1年生からキャリアパスポートの活用を行った。 ▲大学受験指導に対する組織的なコミット不足と3年間を見通した計画や実施方法等の情報共有がうまくいっていないことにより、進学実績を回復させることができていない。	A B C D	
12 来年度に向けての改善方策案	・3年間を見通した、より分かりやすい進路指導計画(キャリア教育の計画)を立案し、全職員が意識した取り組みが継続できるようにしたい。 ・大学入学共通テストへの対応と3年間を見渡した受験計画の作成とその実施に努めたい。	

II 学校関係者評価

実施年月日：令和3年1月29日

【意見・要望・評価等】

・ポストコロナを見据えて、世の中は大きく変わろうとしています。そんな中、地方を支えていくのは生徒一人一人の力に負うところが大きいと思います。将来を担う生徒たちが地元で地元のために活躍できるよう、地元愛を育成していただければと思います。